令和８年度機雷戦訓練（日向灘）及び
掃海特別訓練（日米共同訓練）
訓練計画の概要

防　　衛　　省

令和８年度機雷戦訓練（日向灘）及び掃海特別訓練

１　目　的

（１）海上自衛隊の機雷戦能力の向上

（２）米海軍及び米海兵隊との相互運用性の向上

２　訓練実施期間

令和8年11月11日（水）～27日（金）（海面補償期間：11月16日（月）～11月26日（木））

３　参加予定部隊等

（１）海　自

掃海母艦×１隻、掃海艦×３隻、掃海艇×８隻、護衛艦×３隻、輸送艦×１隻、掃海・輸送機×２機、水中処分員約80名程度

（２）米海軍

掃海艦×１隻、水中処分員、UUV操作員等約10名程度

（３）米海兵隊

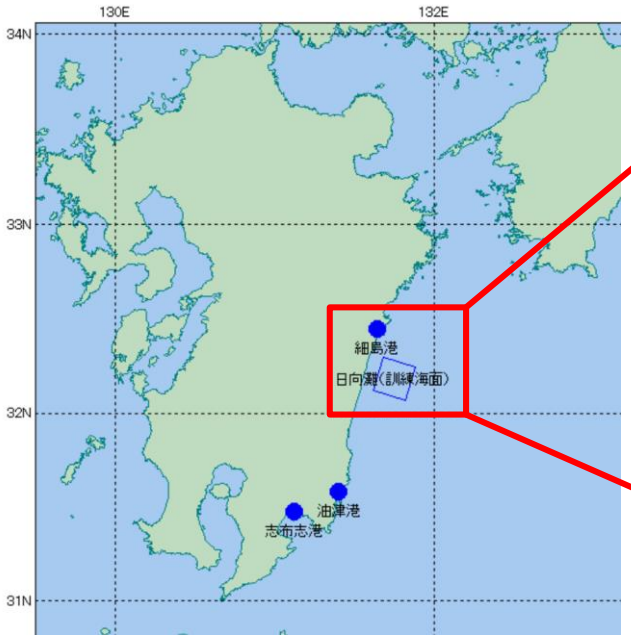
水中処分員４名程度

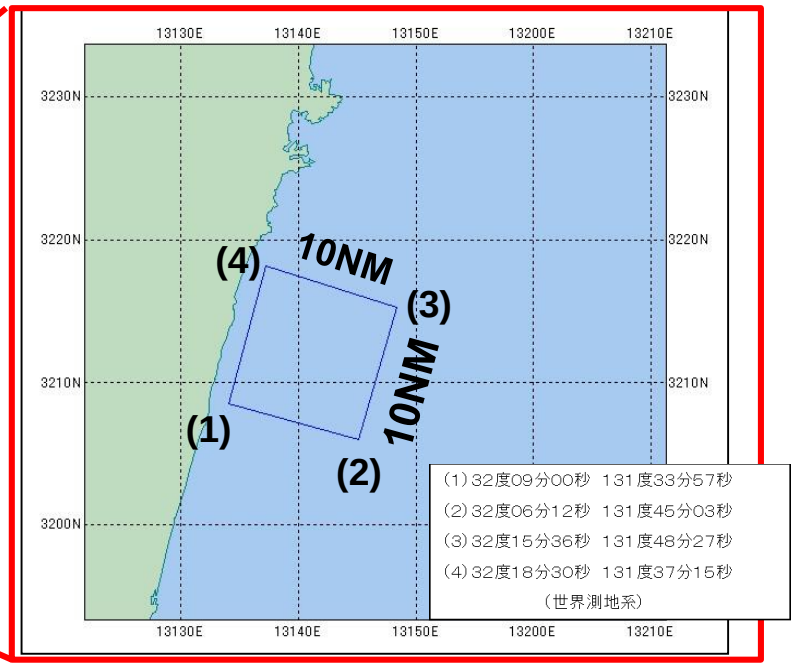
（４）オブザーバー参加

フィリピン、マレーシア海軍（計4名：調整中）

４　訓練海面

都農町・川南町沖区域



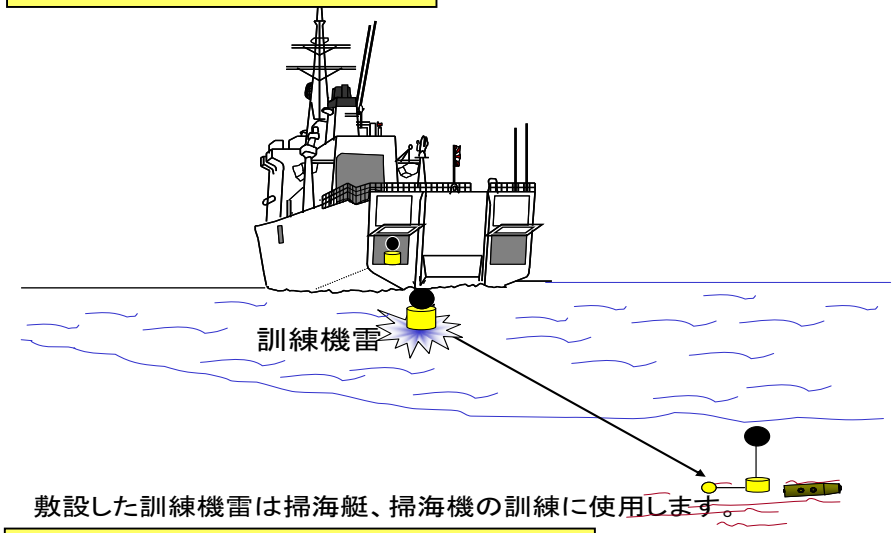


訓練日程の概要

日程	11月															
	11（水）	12（木）	13（金）	14（土）	15（日）	16（月）	17（火）	18（水）	19（木）	20（金）	21（土）	22（日）	23（月）	24（火）	25（水）	26（木）	27（金）	28（土）
出入港	○部隊志布志港入港		○志布志港出港 ○油津港入港		○部隊油津港出港	海面補償期間									○部隊細島入港 部隊細島出港○			
						参加部隊が補給等のため適細島港へ入港												
掃海母艦	事前研究会、訓練準備、安全管理関連指導					掃海艇、潜水員、掃海ヘリコプター支援										事後研究会等		
						訓練機雷等設置									訓練機雷等揚収			
輸送艦						潜水員支援												
護衛艦（FFM）							掃海訓練											
掃海艦艇						海面等調査	標識設置	掃　海　訓　練							標識回収			
潜水員						潜　水　訓　練												
						UUV 操 作 訓 練												
掃　海 ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ							掃　海　訓　練											
米海軍 掃海艦									掃海訓練									
米海軍及び 米海兵隊 潜水員						潜　水　訓　練												
						UUV 操 作 訓 練												

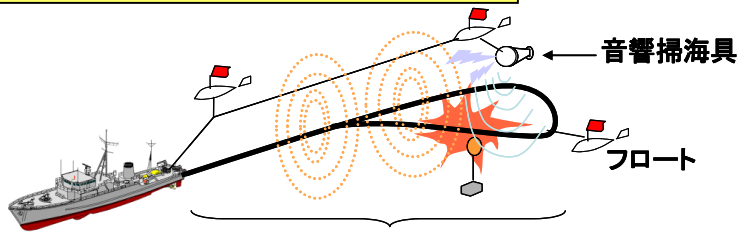
※11月26日（木）：訓練予備日

1　訓練機雷敷設

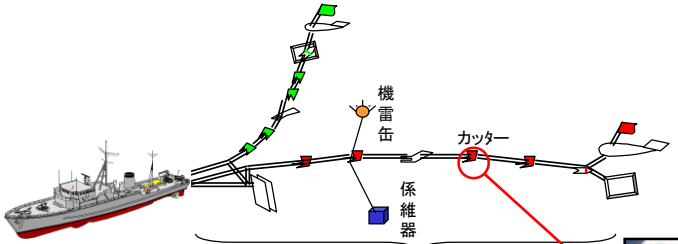


敷設した訓練機雷は掃海艇、掃海機の訓練に使用します。

2　掃海艦艇による機雷掃海



磁気掃海具　掃海電線　約500m



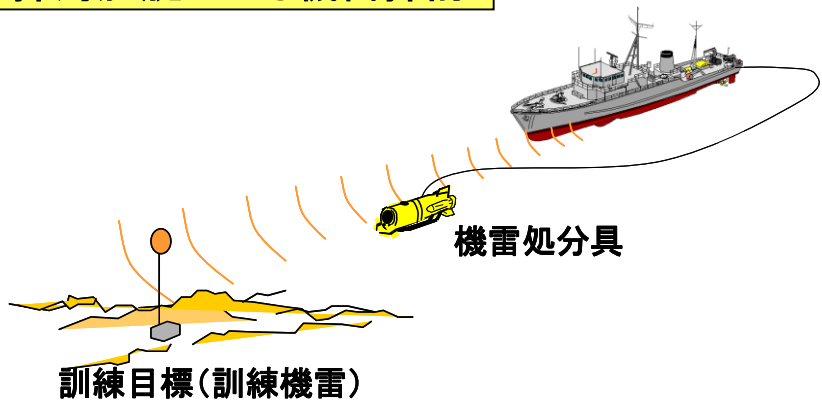
係維掃海具　掃海索　約350m

脱落防止のため係維掃海用カッターは装着しない予定



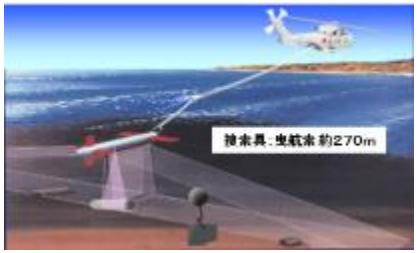
参考：カッター写真
（写真は左舷用）
※右舷用は緑色に塗装

3　掃海艦艇による機雷掃討



4　航空機による機雷掃海





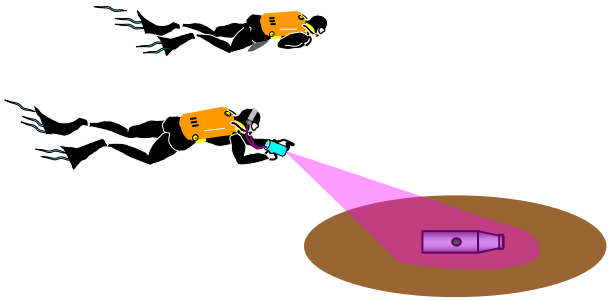
海自掃海ヘリコプター

機雷掃討：掃海艇のソーナーにより探知した機雷を機雷処分具を用いて個別に処分

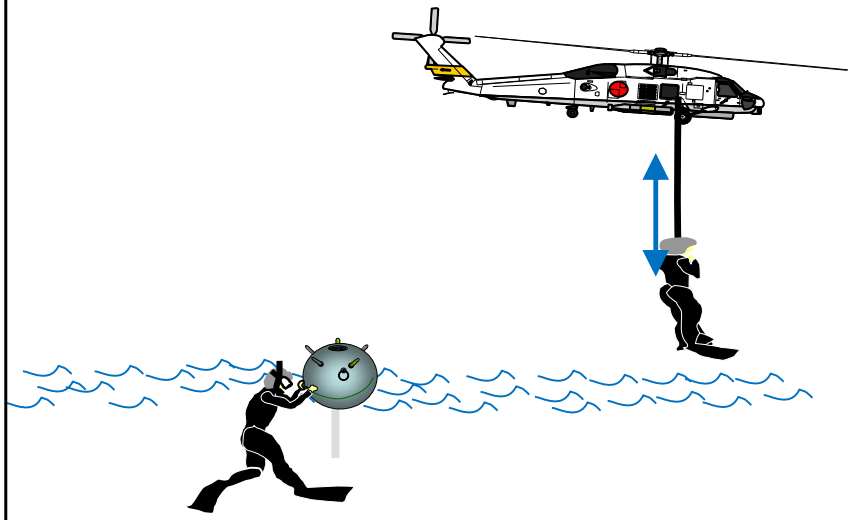
機雷掃海：機雷掃海具を曳航し、艦船を模擬した磁気、音響などを発生させる等により、広範囲の機雷を処分

５　潜水訓練

潜水員による機雷捜索・処分



ﾍﾛ･ｷｬｽﾃｨﾝｸﾞ（H／C）（※１）による機雷処分



※1　ヘロ･キャスティング（H/C）：ヘリコプターからロープを使って潜水員が降下、その後訓練機雷の場所まで泳いで移動、訓練機雷に爆薬を装着（想定）し、再度ロープを使用してヘリコプターへ戻る訓練です。

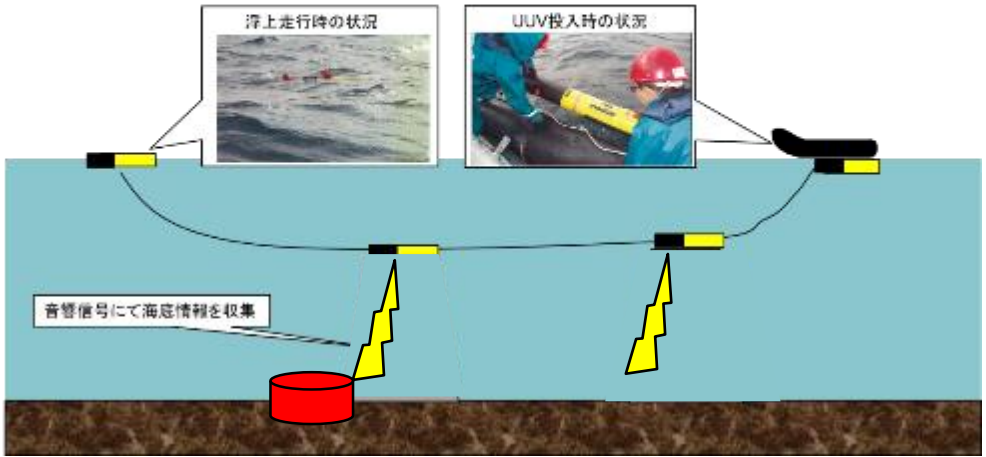
※2　潜水訓練では、火工品は使用しますが、爆薬は使用しません。

６　UUV（無人潜水機）操作訓練

1　規　格
長さ：2．4m、重量：60kg、速力：2～4kt(ノット)



2　UUVの使用イメージ

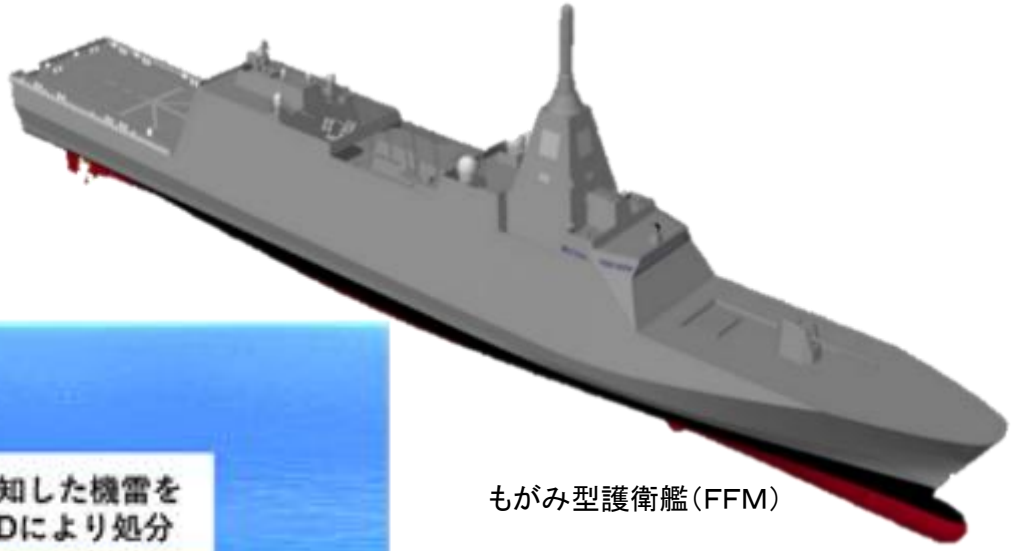


※3　ゴムボートからUUVを降ろし、事前に指定したコースを走らせて海底にある物体の有無について捜索した後、浮上してきたUUVをゴムボートで回収、回収後、UUVが収集したデータを解析する訓練を実施します。

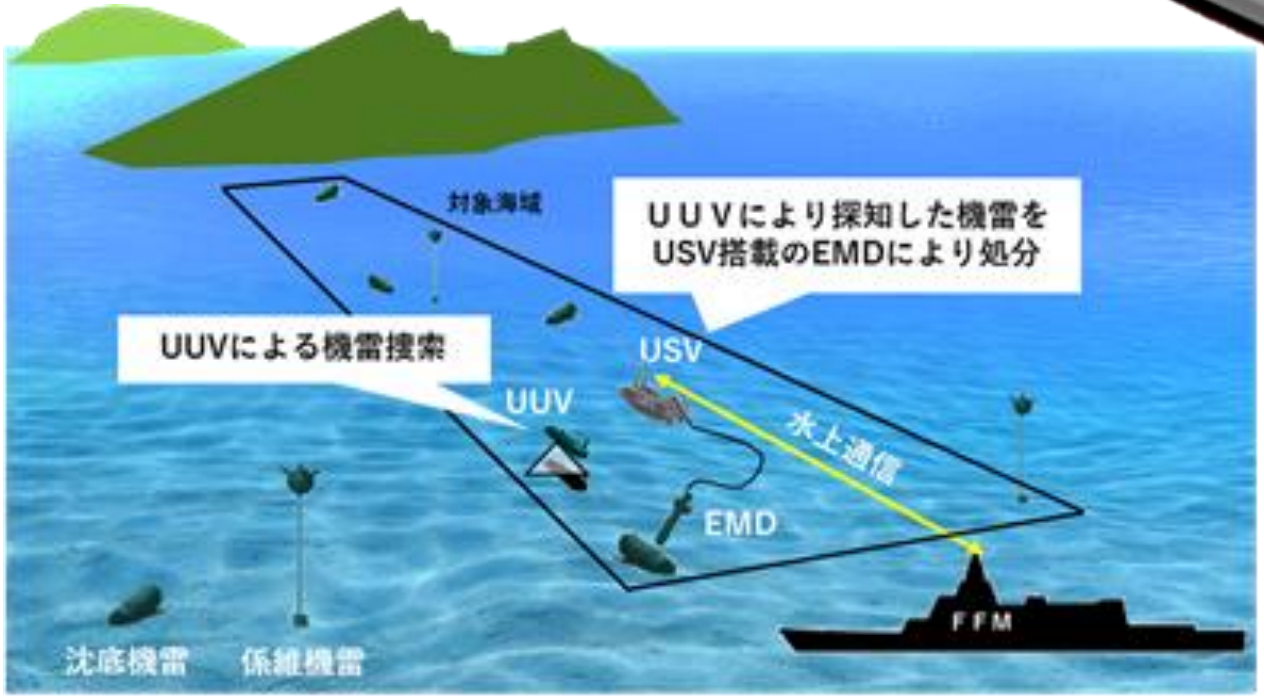
護衛艦（FFM）による掃海訓練

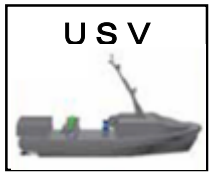
もがみ型護衛艦（FFM）

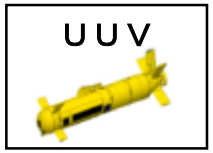
従来型の護衛艦が担っていた平時からの警戒監視、有事における各種戦闘に加え、従来は掃海艦艇が担っていた機雷の処理を含め、多様な任務への対応が可能

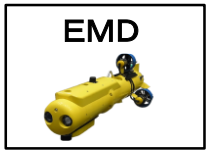


もがみ型護衛艦（FFM）









※　上記のイメージのように、FFMから無人潜水機（UUV）及び無人水上艇（USV）を展開し、FFMからの遠隔操作による機雷捜索(UUV、USV使用)及び機雷の処分（EMD（自走式機雷処分用弾薬（訓練用））を使用）を訓練します。

※　**USV**：Unmanned Surface Vehicle、**UUV**：Unmanned Underwater Vehicle、**EMD**：Expendable Mine Disposal（訓練用）